

愛知国道事務所安全協議会 西知多支部の取り組みについて

愛知国道事務所安全協議会 西知多支部
株式会社光建 八木 正史



国道247号西知多道路は、「中部国際空港」、国際拠点港湾の「名古屋港」と高規格幹線道路(伊勢湾岸自動車道)を連絡し、名古屋都市圏自専道網を形成する、延長約18.5kmの地域高規格道路です。愛知国道事務所では、愛知県からの要請を受け、権限代行にて東海ジャンクション部2.0km区間(主に、橋梁上部工事、橋梁下部工事、道路改良工事)の整備を進めており、現在、西知多支部は10社で構成されています。

当現場は、国道247号西知多道路と伊勢湾岸自動車道を直結するオン・オフランプを構築する工事であるため、橋梁上部工事においては自動車専用道路上での架設、橋梁下部工事は中央分離帯内や既設桁下での施工、道路改良工事では現道脇かつ工場に隣接したヤード内など、いずれも狭隘な施

工ヤードの中で受注者が輻輳して作業を行っているのが特徴です。また、国道247号は交通量の多い道路であることから、交通渋滞回避のため、交通規制を伴う作業は夜間に実施するなど制約が多いことも特徴の一つです。

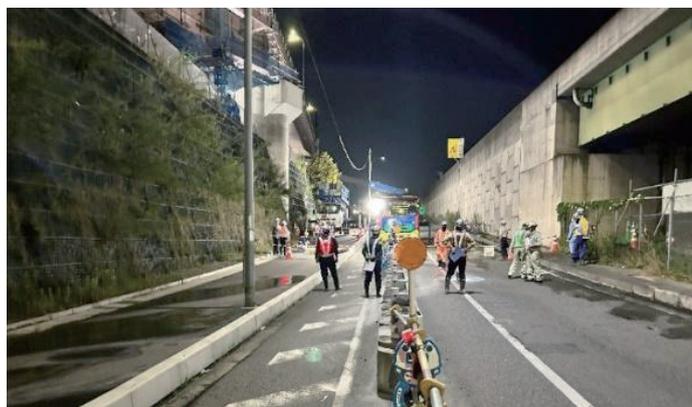
このような条件下のもと、西知多支部では、各現場における交通災害及び第三者への災害を防止し、安全に工事を進めることを重点目標として掲げ、毎週の工程会議と毎月安全パトロールを実施しており、昼間のみならず、夜間パトロールを取り入れ、夜間作業における危険箇所の排除にも努めています。安全パトロールで推奨された安全対策や取り組み



東海ジャンクション完成予想図

に関しては、各現場で取り入れを検討するなど、支部全体で事故防止を図っています。また、西知多支部では関係工事による「通行止め部会」を立ち上げ、通行止めの日程調整や広報手法の検討に加え、交通規制時の安全上の問題点など議論し、現場間の情報共有を図っています。

以上、西知多支部では、発注者と受注者が一体となって無事故・無災害を目標とし、工事の完成を目指します。



夜間パトロール状況



通行止め部会